

要請重ね 一定の前進

22年診療報酬改定の特徴

平尾清司研究部長に聞く①



金バラの随時改定が見直されました。

歯科用貴金属材料の実勢価格と公定価格の乖離幅を抑えるよう見直されました。「随時改定I(素材価格の変動幅が5%超の場合に実施)」と「随時改定II(15%超の場合に実施)」を廃止し、「変動幅にかかわらず年4回」の随時改定に見直し、公定価格の決定に使われる素材価格の参照期間を改定実施の「3カ月前まで」から「2カ月前まで」に短縮するものです。協会や保団連が求めてきた現行制度の抜

75歳以上の窓口負担の2割化をストップさせようと、協会・保団連は現在、請願署名に取り組んでいます。こうした署名運動の意義や役割について考えます。

「署名活動」とは、実現したい要求を人々に伝えて、理解や賛同を促るとともに、多数の賛同者の存在を示すことで行政や議会、企業などに対してアピールする行動の一つです。

「署名活動」は、自治体など行政機関に対しては、「請願」とセットにした「請願署名」として取り組まれることが少なくありません。

「請願」は、憲法が保障する権利の一つで(16条・請願権)、「請願法」によって手続きが定めら

るが現状です。診療報酬改善へ向けて必要なことは、歯科医療改善の要求を粘り強く政府に届けることが重要です。「逆ザヤ」問題では協会・保団連は「金バラ」「逆ザヤ」シミュレータによる実勢価格調査や「金バラ」「逆ザヤ」の解消を求め、厚労省要請を重ねてきました。

同時にメタルフリーな代替材料の開発と保険導入の促進も重要な課題です。メタルフリー材料の開発や保険導入は徐々に進んでいますが、不十分です。今次改定では、CAD/CAMインレーが前歯部に、CAD/CAM M冠が歯根分割掘削後の下顎大臼歯にそれぞれ適用が拡大されましたが、臼歯部の部分的修復はメタルに頼らざるを得ないでいきます。(おわり)

現行制度の枠内での緩和策にすぎません。素材価格の参照期間と実勢価格にタイムラグが生じるため「逆ザヤ」問題は解消されずままです。4月改定で30グラムあたりの価格は9万4470円に引き上げられました。今年1月に金バラの市場価格と保険償還価格が逆転して以後、「逆ザヤ」は拡大し続けています。

「署名活動」とは、実現したい要求を人々に伝えて、理解や賛同を促るとともに、多数の賛同者の存在を示すことで行政や議会、企業などに対してアピールする行動の一つです。

「署名活動」は、自治体など行政機関に対しては、「請願」とセットにした「請願署名」として取り組まれることが少なくありません。

「請願」は、憲法が保障する権利の一つで(16条・請願権)、「請願法」によって手続きが定めら

るが現状です。診療報酬改善へ向けて必要なことは、歯科医療改善の要求を粘り強く政府に届けることが重要です。「逆ザヤ」問題では協会・保団連は「金バラ」「逆ザヤ」シミュレータによる実勢価格調査や「金バラ」「逆ザヤ」の解消を求め、厚労省要請を重ねてきました。

同時にメタルフリーな代替材料の開発と保険導入の促進も重要な課題です。メタルフリー材料の開発や保険導入は徐々に進んでいますが、不十分です。今次改定では、CAD/CAMインレーが前歯部に、CAD/CAM M冠が歯根分割掘削後の下顎大臼歯にそれぞれ適用が拡大されましたが、臼歯部の部分的修復はメタルに頼らざるを得ないでいきます。(おわり)

「署名活動」とは、実現したい要求を人々に伝えて、理解や賛同を促るとともに、多数の賛同者の存在を示すことで行政や議会、企業などに対してアピールする行動の一つです。



「署名活動」とは、実現したい要求を人々に伝えて、理解や賛同を促るとともに、多数の賛同者の存在を示すことで行政や議会、企業などに対してアピールする行動の一つです。

「署名活動」は、自治体など行政機関に対しては、「請願」とセットにした「請願署名」として取り組まれることが少なくありません。

「請願」は、憲法が保障する権利の一つで(16条・請願権)、「請願法」によって手続きが定めら

るが現状です。診療報酬改善へ向けて必要なことは、歯科医療改善の要求を粘り強く政府に届けることが重要です。「逆ザヤ」問題では協会・保団連は「金バラ」「逆ザヤ」シミュレータによる実勢価格調査や「金バラ」「逆ザヤ」の解消を求め、厚労省要請を重ねてきました。

同時にメタルフリーな代替材料の開発と保険導入の促進も重要な課題です。メタルフリー材料の開発や保険導入は徐々に進んでいますが、不十分です。今次改定では、CAD/CAMインレーが前歯部に、CAD/CAM M冠が歯根分割掘削後の下顎大臼歯にそれぞれ適用が拡大されましたが、臼歯部の部分的修復はメタルに頼らざるを得ないでいきます。(おわり)

「署名活動」とは、実現したい要求を人々に伝えて、理解や賛同を促るとともに、多数の賛同者の存在を示すことで行政や議会、企業などに対してアピールする行動の一つです。

要望届ける直接の手段

「署名活動」とは、実現したい要求を人々に伝えて、理解や賛同を促るとともに、多数の賛同者の存在を示すことで行政や議会、企業などに対してアピールする行動の一つです。

歯内療法でのCT活用を解説



木ノ本氏が記念講演

大阪市南部・同西部地区総会

大阪市西部・同南部地区は3月13日、木ノ本喜史氏(吹田市開業・大阪大学歯学部臨床教授・写真)を講師に地区総会記念臨床講習会「CT時代

の臨床根管解剖—三次元で捉える解剖学的情報と病態」を共催し、35人が参加した。

木ノ本氏はCTによる根管の形態や根尖病変の見え方を中心に解説。CBCの登場によってその場で「見える歯内療法」が可能となったとして、その特性を理解することが大切と強調した。(東住吉区・森啓)

根管形態の確認ではデンタルでは5割、CBC CTでは9割程度の正確な再現が見られ、根尖病変の発見についてはCBC CTを10とすると、デンタルで5割強、パノラマでは3割弱と指摘した。撮影時の注意として、CBC CTでは根充材、コアでArtipactが発生しやすいので、除去してからの撮影の方が診断しやすいと指摘し、撮影時には目を閉じておくほうがMotionArtifactが起りにくいとアドバイスした。(東住吉区・森啓)

4月から中小企業も

職場におけるパワーハラスメント対策を事業主に義務付ける「パワーハラスメントの防止に関する法律(パワハラ防止法)」が4月から中小企業にも適用される。

具体的内容として、①事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発②相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備③職場におけるパワハララスメントに係る事後の迅速かつ適切な対応④①から③までの措置と併せて講ずべき措置が求められる。詳細は厚労省HP(QRコード)を参照。

職場でのハラスメントは、個人の尊厳や人格を傷つけるだけでなく、事業所の経営損失にも関わる課題となっている。労働者の意欲の低下などによる職場環境の悪化や健康状態の悪化などを引き起こし、結果的には、業績や社会的評価の悪化につながるかねない。職場での様々なハラスメントを防止するよう努めることが事業者や労働者双方の責務となっている。



濃厚接触者

毎日検査5日目まで

厚労省は3月16日、濃厚接触者となった医療従事者が勤務を継続する場合の要件を示した。要件は左のとおり(傍線部は変更点)、「濃厚接触者」の判断は本紙2月15日付1面参照。

濃厚接触者である医療従事者の業務を管理者が了解していること

図1 歯科に関わる睡眠の問題

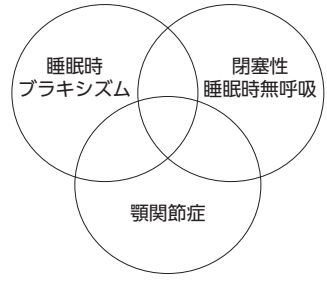
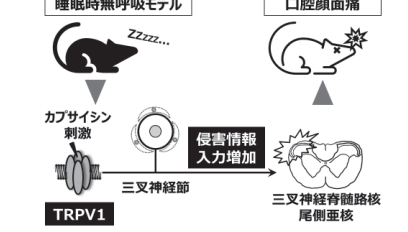


図2 睡眠時無呼吸と口腔顔面痛



睡眠時無呼吸が、TRPV1を介した侵害情報の入力を増加させることにより、口腔顔面痛を誘発する可能性が示唆されている。

大阪大学大学院歯学研究科 口腔生理学教室 教授 加藤 隆史 講師 片桐 綾乃

睡眠が関わる歯科疾患の病態解明は21世紀の課題です。科学的エビデンスをもとにした治療法や管理方法の開発が、患者さんの原因不明の苦しみの緩和につながることを考え、我々は研究に励んでいます。

歯学研究が開く 歯科の未来 ⑫

睡眠~歯科医療の新たな役割~ これらの疾患は同じ患者で合併することが多いです。最近では、誤嚥や口腔乾燥、口腔灼熱感も睡眠障害と関わる可能性も示されています。つまり、患者の「原因のわからない訴えや症状」の背後に、睡眠の問題が潜んでいる可能性があります。このように歯科医師が関わる睡眠の問題は非常に身近にもかかわらず、病態メカニズムの研究は進んでいません。そこで、我々の研究室では、歯科に関わる睡眠障害の病態メカニズムの解明を進めています。睡眠時ブラキシズムのような咀嚼筋活動を、睡眠中の実験動物で発生させることに成功し、歯ぎしりの脳内メカニズムの解明に近づきました。さらに、睡眠中に閉塞性睡眠時無呼吸のような低呼吸状態をつくる、実験動物が口腔灼熱感に似た感覚異常を示すことがわかりました。そして、その感覚異常の原因にTRPV1チャンネルが関与することがわかりました。TRPV1チャンネルは、昨年のノーベル賞を受賞した研究で発見されたチャンネルです(図2)。

古くて新しい睡眠と歯科医療 要視され始めています。古くて新しい睡眠と歯科医療